

校則見直しの取組事例

北海道中標津農業高等学校

課程：全日制

学科：生産技術科・食品ビジネス科

生徒数：113名

校則見直しに向けて取り組み始めた事例

1 校則見直しの経緯

(1) 校則を見直した経緯等

○校則見直しへの意見は少なからずあったが議論する場がなかった。

○校則を見直すにあたり誰がどのように動くかが明確でなかった。

(2) 見直すこととなった主な校則等

○今のところ見直した校則はないが、見直しに向けて生徒会執行部が議論中である。

2 校則見直しの取組

(1) 生徒が話し合う機会を設けた取組（又は保護者・地域からの意見を聴取した取組）

○年度始めのリーダー研修（生徒会執行部の研修会）において生徒指導部長から以下を周知、確認

- ・年度始め総会が校則見直しに係る意見の集約の場であること
- ・生徒会規約に基づき教員と話し合いをもつことができること
- ・校則見直しの主体は生徒会執行部であること

(2) 教職員の理解・共通認識を深めた取組

○年度終わり、年度始めの職員会議にて生徒主体の校則見直しの順序について確認している。

3 取組の成果等

(1) 成果

○生徒会執行部により主体的取り組みが活性化した。

- ・生徒会執行部が独自のアンケートを作成し生徒の意見を集約した。
- ・生徒会執行部内での議論が活発化した。

(2) 課題

○生徒会執行部組織の特性

- ・農業クラブ執行部と同組織のため農業クラブ行事の運営にも労力を割かざるを得なく時間的な制約がある。